

## 関東大会中新型コロナへの備え《感染者が出たときの対応》

### 1) 抗原検査キットを出場チームが事前に準備しておく

春季・夏季関東大会出場チームは、選手数＋指導者分の抗原検査キットを事前に準備し、チーム内に感染者が出た場合、他の関係者の感染状況早期把握に備える（NETや薬局で1組1,000円程度で購入できます）。

### 2) チームにコロナ感染者が出た場合(3月16日通達による)

選手やチーム関係者が新型コロナウイルスに感染したり濃厚接触者となった場合、発症した日または濃厚接触した日以降にチームと接触があった場合、3日間チームの活動を停止して感染者が増えないか観察する。その間感染者が増えたり濃厚接触者が特定された場合、文科省が2022年2月2日に基準を見直した休校の目安期間5日程度に活動停止期間を延長し、チーム内の感染防止に努め、必ずブロック長、支部長に連絡し指示を仰ぐこと。

### 3) 大会当日の朝、選手や指導者に発熱などコロナを疑う症状が出た場合

- ・本人はチームの活動に参加せず抗原検査（早めにPCR検査）を実施する。陽性の場合には病院や保健所の指示に従い一定期間自宅などで療養する。陰性の場合には、医師の指示により熱が下がるまで安静にする。
- ・他の選手・指導者は、当日の朝会場に出発する前に全員抗原検査を行い、陽性となった者はチームの活動に参加せず病院で治療を受ける。
- ・チーム内のPCR・抗原検査結果で本人含め2人以上陽性となった場合、または前日チームが宿泊した場合は1名でも陽性者が出たら大会を棄権する。
- ・他の選手、指導者が抗原検査の結果陰性であっても前日まで遡り、発熱した本人の※<sup>1</sup>濃厚接触者に該当する場合、発熱した本人が陽性だったときには※濃厚接触者はその日の活動に参加できず7日間自宅で経過観察となる。

（関東近県の自治体が定めている※濃厚接触者とは）

1. 「感染者」と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった方
2. 手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、マスクなどの必要な感染予防策なしで、「感染者」と15分以上の接触があった方（シニアでは昼食時向かい合わせで食事した場合も含む）

以上です。いずれの場合もブロック長経由支部長に連絡すること。

食事のときは黙食、車での移動中はマスクをして極力会話せず窓開け換気をして感染防止に努め、濃厚接触者にならないよう注意しましょう。